

大阪湾漁場環境速報

平成25年4月6日発行
兵庫のり研究所

湾奥部を中心にスケルトネマやキートセロス、タラシオシラ等の小型珪藻が大量発生しており、一部で赤潮を形成しています。栄養塩はこれらの珪藻による消費により、湾奥部を除くほぼ全域で著しく低下しています。4/6~7にかけて、日本付近を急速に発達しながら通過する低気圧の影響で、まとまった降雨や強風（南および西）による時化が予想されます。時化による珪藻の減少やまとまった降雨による栄養塩供給など、漁場環境の好転が期待されるところです。

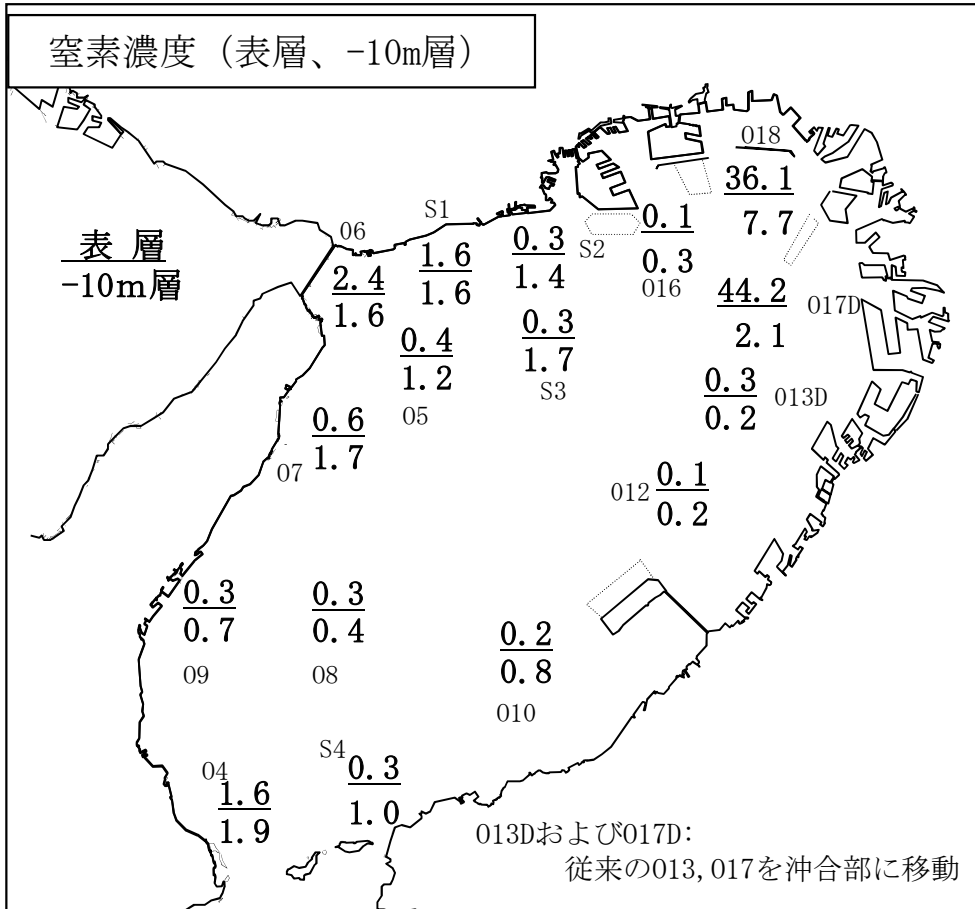
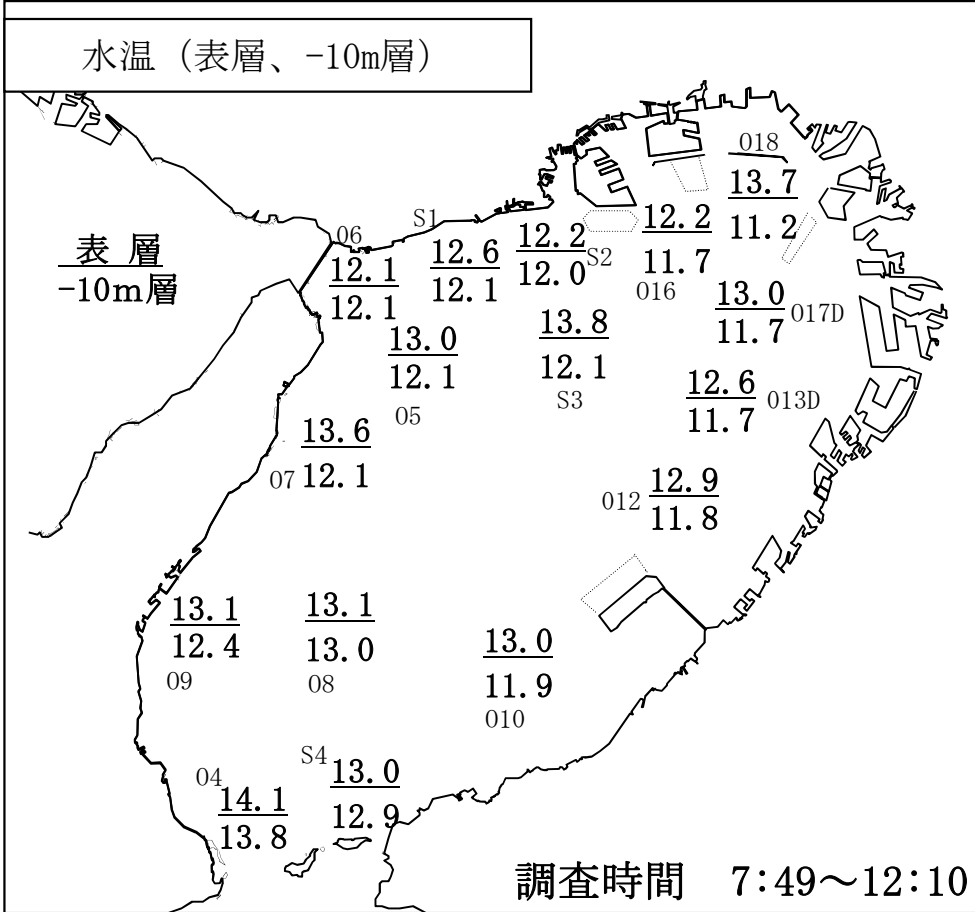
(水温) 表層は湾内12~14℃台で、平均13.0℃。平年比1.4℃、昨年比2.1℃それぞれ高い。-10m層は平均12.3℃(平年比+1.2℃)。

(塩分) 表層平均31.94psu(平年 31.20)。-10m層平均32.40psu(平年 32.16)。

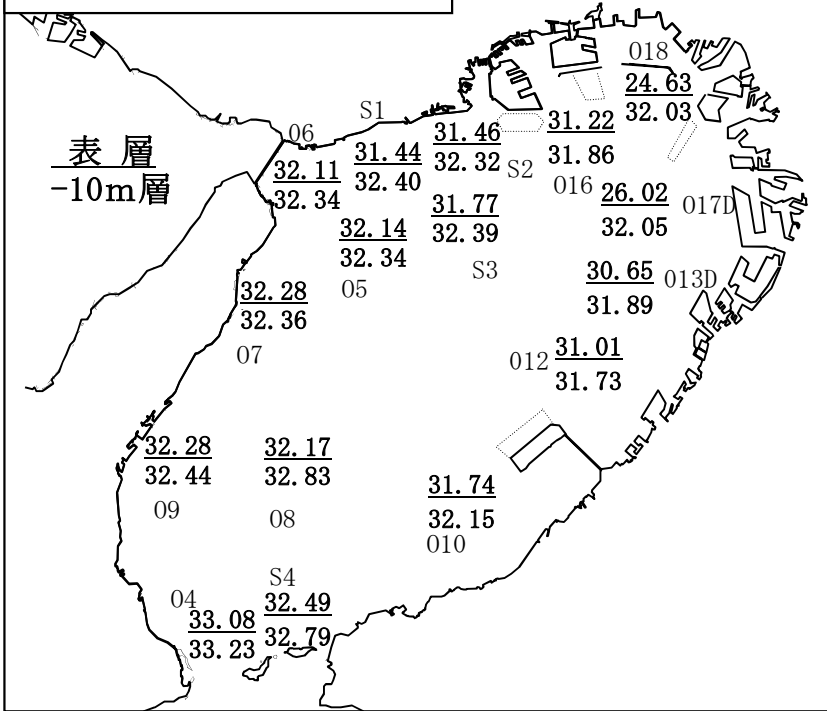
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均0.7 μg-at/L、リンは平均0.10 μg-at/L。-10m層(平均)は、窒素1.1 μg-at/L、リン0.16 μg-at/L。先月に引き続き、窒素・リンとも著しく低い値で推移している。湾奥部ではスケルトネマやキートセロス、タラシオシラ等の小型珪藻による強い赤潮が確認され、その他の海域でもこれらの珪藻が多く認められた。透明度は赤潮域で2.0m、その他で3.0~8.0m、平均4.9m。pHは表層平均8.40で、赤潮域では8.5~8.6。

上段 (今回値)	平成25年4月5日調査
中段 (昨年値)	平成24年4月2日調査
下段 (平年値)	4月上旬

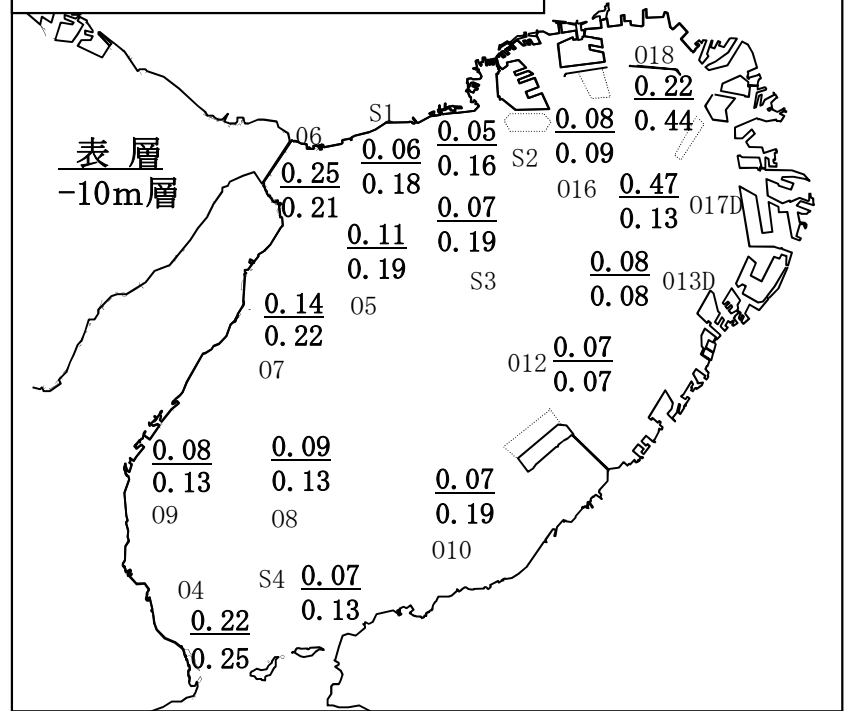
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	燐酸 (μg-at/L)
04	14.1	33.08	1.6	0.22
	11.8	32.44	3.6	0.30
	12.4	32.78	3.8	0.31
05	13.0	32.14	0.4	0.11
	10.4	31.36	2.9	0.21
	11.4	31.88	2.9	0.21
06	12.1	32.11	2.4	0.25
	10.4	27.16	8.6	0.12
	10.8	31.57	3.8	0.23
07	13.6	32.28	0.6	0.14
	10.7	31.49	4.2	0.39
	11.8	31.75	2.7	0.21
08	13.1	32.17	0.3	0.09
	11.3	31.72	1.9	0.20
	12.0	31.82	2.9	0.21
09	13.1	32.28	0.3	0.08
	11.3	31.87	2.1	0.22
	12.1	32.10	6.0	0.37
010	13.0	31.74	0.2	0.07
	10.8	31.25	1.0	0.13
	11.6	31.35	2.8	0.14
012	12.9	31.01	0.1	0.07
	10.8	30.51	1.4	0.11
	11.4	30.58	4.1	0.13
013D	12.6	30.65	0.3	0.08
	10.9	29.65	4.0	0.09
	11.6	29.99	9.5	0.20
016	12.2	31.22	0.1	0.08
	10.7	22.81	21.7	0.16
	11.3	27.28	15.2	0.21
017D	13.0	26.02	44.2	0.47
	11.1	25.96	15.7	0.16
	11.7	27.39	49.4	0.69
018	13.7	24.63	36.1	0.22
	11.2	20.81	42.1	0.31
	11.8	22.34	51.9	1.07
S1	12.6	31.44	1.6	0.06
	10.4	27.32	11.1	0.14
	11.0	30.78	4.7	0.20
S2	12.2	31.46	0.3	0.05
	10.5	27.23	6.7	0.10
	11.1	29.91	4.5	0.14
S3	13.8	31.77	0.3	0.07
	10.4	31.50	2.2	0.23
	11.8	31.41	3.1	0.17
S4	13.0	32.49	0.3	0.07
	12.2	32.63	2.4	0.26
	12.2	32.37	2.6	0.20



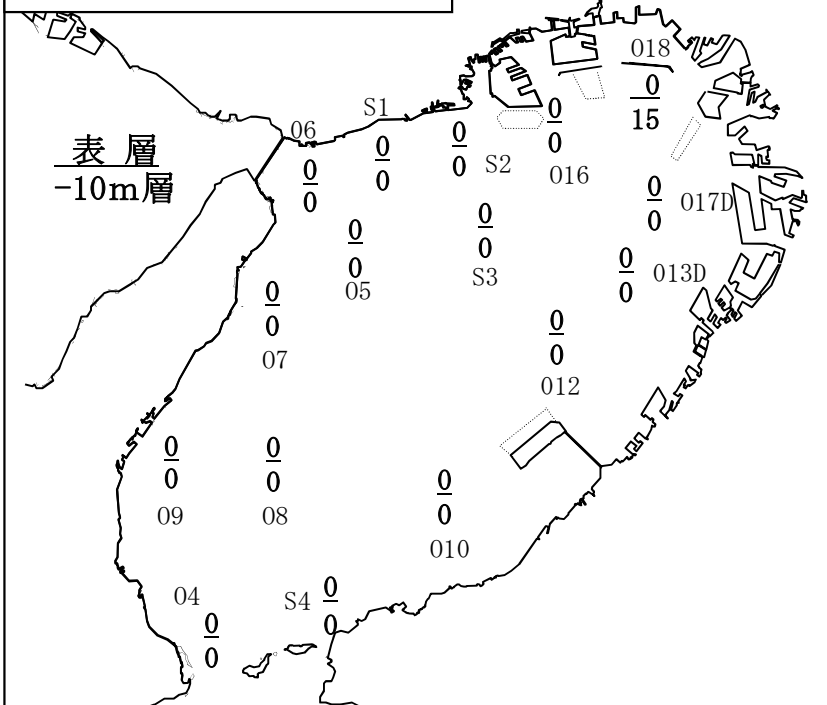
塩分 (表層、-10m層)



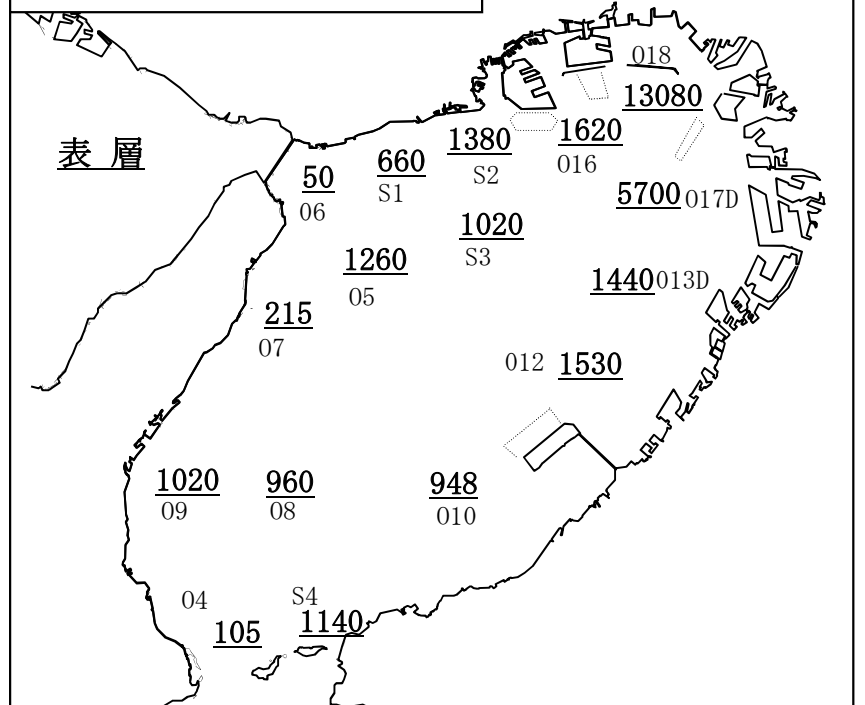
リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)



ユーカンピア (細胞/ml)

